

News Release

2018年5月16日
株式会社日立物流

IC タグ (RFID) を活用した次世代物流サービスの提供に向けて協業を開始

株式会社日立物流（東京都中央区、代表執行役社長：中谷康夫、以下「日立物流」）は、大日本印刷株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：北島義俊、以下「DNP」）、東芝テック株式会社（東京都品川区、代表取締役社長：池田隆之、以下「東芝テック」）と共同で、IC タグ（RFID*）を用いた次世代物流サービスの実用化に向けて、協業を開始しますので、お知らせいたします。

*RFID(Radio Frequency Identification)とは、電波を利用して非接触で電子タグのデータを読み書きする自動認識技術

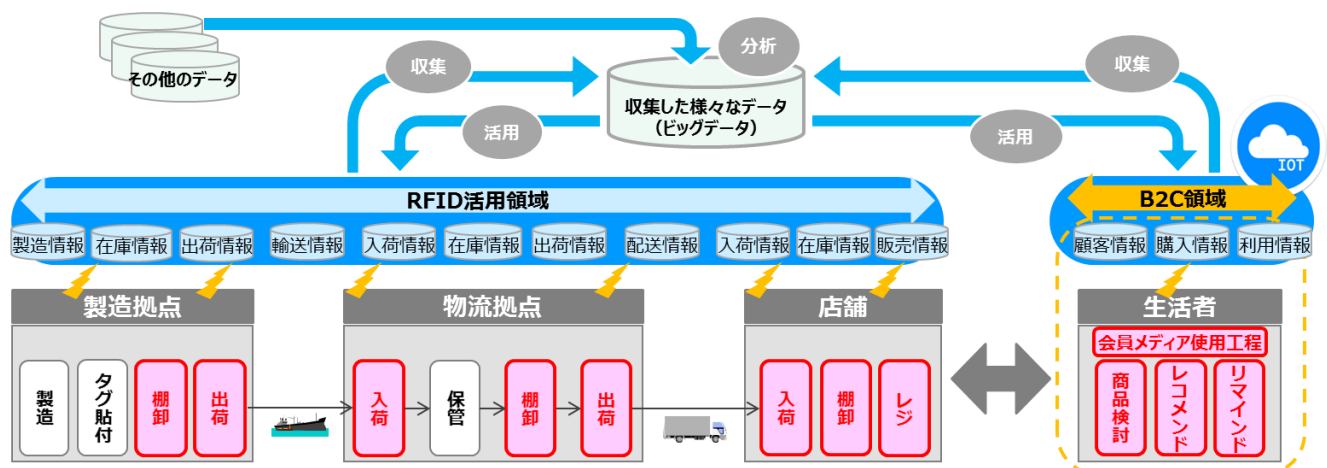
1. 協業の背景

流通・小売業界では近年、少子化の影響を受け、人手不足と労務コスト上昇の2つが課題となっています。こうした課題の解決に加え、廃棄ロスの削減や、入出荷、棚卸し業務の作業生産性向上など、サプライチェーン全体の効率化が求められています。その解決手段の一つとして、RFID が注目されており、アパレルメーカーやコンビニエンスストア、ドラッグストア、百貨店業界等で、導入の検討が進んでいます。3社は、このRFIDを活用した次世代物流サービスの早期実用化に向けて、協業を開始するものです。

2. 次世代物流サービスの概要

本サービスは、製造地でRFIDを貼付し、以降のあらゆるプロセス（製造拠点、物流センター、店舗等）での活用により作業効率を高め、省人化や作業品質のさらなる向上を実現します。また、RFIDで取得した製造、入出荷、販売等のデータを活用し、廃棄ロスや機会ロスを最小限にするとともに、よりの確な需要予測、サプライチェーン全体での最適な在庫配置、人々のニーズに合った新製品開発と店舗での新たな顧客アプローチを行うなど、次世代のマーケティング手法の確立を進めます。

[サービスの概要図] 赤枠はRFIDを使用した実作業またはRFIDで取得したデータの利活用項目



(各社の主な役割)

- ・ 日立物流 : 物流業務のノウハウの提供、物流センター運営
- ・ DNP : RFIDの提供、RFIDで取得したデータの利活用
- ・ 東芝テック : 情報共有システム、情報機器、運用に関する知見の提供

以上

【お問い合わせ先】

〈担当窓口〉 株式会社日立物流 営業開発本部 営業企画部 TEL:03-6263-2826
 〈本リリース内容〉 株式会社日立物流 経営戦略本部 広報部 TEL:03-6263-2803